

第4回 江東未来会議

(第4分科会：まちづくり・環境分野)

次 第

日時:平成19年11月22日(木) 午後7時00分～9時00分

場所:文化センター2階 旧区政PRコーナー

- 1 開会

- 2 事務局からの連絡事項

- 3 本日のワークショップの進め方について

- 4 ワークショップ
 テーマ①:まちづくり・環境分野の重点テーマにおける
 課題について
 テーマ②:まちづくり・環境分野の重点テーマにおける
 江東区の将来像について

- 5 その他

- 6 閉会

(配付資料)

○江東未来会議第4分科会 第2回議事概要(確定版)

江東未来会議 第4分科会「まちづくり・環境」分野 第4回 検討の進め方

1. 検討内容

(1) 「重点テーマに関する課題」に関する討議（前回討議結果の発表・全体討議）

①グループ討議

- ・各グループで前回討議した「まちづくり・環境分野における課題」を確認します。
- ・書き出された課題を、分野、対象、地域、要因などの観点から類似性、共通性があると思われるものをグルーピング（検討・整理）し、グループごとにテーマ名称を検討、決定してください。

※グループ構成は前回と同様です。前回欠席の方は、受付時に参加したいグループをお聞きします。

②全体討議

- ・グループごとに重点テーマ別の課題を発表し、全員で改めて、課題について意見交換を行います。また、横断的なテーマ「環境」の視点から意見交換を行います。

(2) 「重点テーマに関する江東区の将来像」に関する討議

①グループ討議

■討議の内容

- ・次に、グループ討議に戻り、「まちづくり・環境分野における望ましい将来像の整理」を行います。具体的には、重点テーマごとに、およそ10年後に江東区がどのような姿になっていることを目指すのか、について整理してください。
- ・前回整理した、「課題」を解決してどのような姿にしたいか、という視点にたって検討してください。

■討議の方法

- ・前回の検討方法と同様に、まず、各自が考える望ましい将来像をポストイットに書き出し、発表し、模造紙に添付していきます。
- ・書き出された将来像を、分野、対象、地域、要因などの観点から類似性、共通性があると思われるものをグルーピング（検討・整理）し、グループごとにテーマ名称を検討、決定してください。

②全体討議

- ・グループごとに重点テーマ別の将来像を発表し、全員で改めて、将来像について意見交換を行います。また、横断的なテーマ「環境」の視点から意見交換を行います。

2. 進行スケジュール（時間配分の目安）

時間表	検討項目	検討内容
19：00～19：05	開会；議事次第説明	事務局より、議事次第の説明、配布資料を確認します。
19：05～19：10	第4回の進行の確認	事務局より、本日の検討の進め方を説明します。
19：10～19：25	グループ討議（1）①	グループごとに、前回の討議結果を確認し、課題のグルーピングを行います。
19：25～19：55	全体討議（1）②	グループごとの発表と質疑応答を行い、全体で討議を行います。
19：55～20：00	休憩	
20：00～20：45	グループ討議（2）①	グループごとに、重点テーマ別の江東区の将来像について整理します。
20：45～21：00	全体討議（2）②	グループごとの発表と質疑応答を行い、全体で討議を行います。
21：00	閉会	

以上

江東未来会議 第4分科会 第3回グループ討議結果

水辺

隅田川護岸の改善
・親水性の強化
・回遊性の強化

水の様子が多く見られる。魚の見える水であってほしい

河川近くのOメートル地域の安全をどう計るか

水産都市
魚・貝・のり・つり・養殖

水質の保全を守るには泳げる

水と緑をセットで考える

美しい水辺空間=江東区を創る
①既存運河河川の親水整備
②新たに運河をつくる

江東区には中央防波堤と云う大きな堤防があるので水害は今までは考えなくてもよくなっていると思う

荒川、隅田川、千湯下流域の自然(ヨシ原)が少ない

緑地、ビオトープが点在していて生物の行き来ができない

外来種が多い

小名木川は扇橋近くで橋が低く災害時資材のつけた船の通行が出来ない(緑と水辺の課より電話あり)至急しゅんせつせつせねばならない

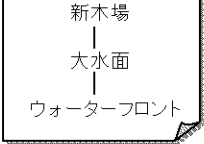
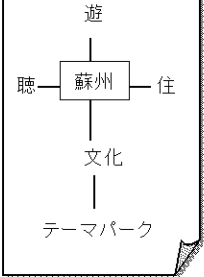
関東の大小の河川は首都圏外かく放水路でトンネルでつながっていてポンプで水位の低い河川に流れているので台風9号でもこの水路が有効に働いて水害はなかった

水路使用許可が江東区の場合なかなか許可がおりない。例えばドラゴンボートなど

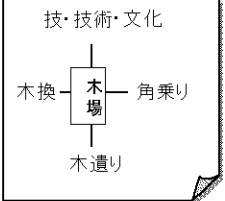
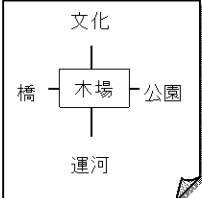
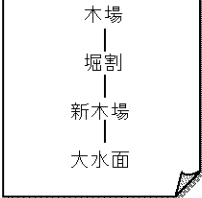
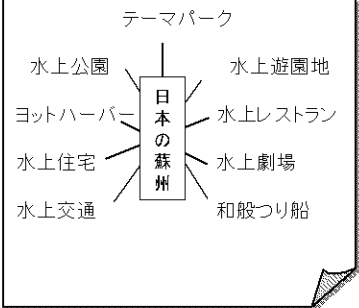
内部河川の改善
・子供が安心して遊べる
・夜間環境の整備

江東時代は飲料水は他所から買って飲んだ。今は不用な事だが現在のその周辺は如何か?

水辺は多いが接することができない
区民による水監視(水質生物)



せっかくある水辺の活用が不充分
⇒交通として
⇒観光として
⇒防災として
⇒その他



河川交通の見直し
・主として観光面
→「水辺」のまちという印象を外へ発信

水辺の良さを全国に告知する。
広告塔=区長

江東区を起点とする観光巡り網(ネットワーク)をつくる。

緑地で景観の良い街が作れていない

ららぽーと豊洲から週末に臨海副都心めぐりの水上バスのツアーが出る
こう云うのが内陸部でもあれば良い

水族館の創成

大型の水族館(都立)
～小宇宙館として～
(参考)いわき水族館

自然の浜辺がない。
潮干狩り、海水浴、ボート遊び等が出る浜辺「都民の憩いの場」

水陸両用車などの観光手段を装備する

水彩都市にふさわしい江東の象徴な場所が必要である

自然に興味のある区民が少ない

環境教育の場としての自然(エコミュージアム)

区民がかかわれる自然(林)が少ない
→バイオマス

区民農園が少ない。
田んぼも3枚のみ生産地(安全保証・地産地消)

浮浪者が多い

港湾地域への区民のアプローチ方法の検討

水辺からのアクセス陸地から水辺へのアクセスが悪い

水辺から街のながめが良くない

防災

人（住民の意識）

事（人以外）

全体

防災計画の概要

理念

これから来る地球温暖化は文明人は未だ体験したことがない

地球温暖化による海面上昇→水害の意識が少ない

震災、区民の無理解→2次災害→区民への震災教育(生活スタイルに合わせて)

体制

町内会とマンション住民との関係

新しい住民、昔からいる人の住民のコミュニケーション

避難訓練

住民間のネットワークづくり

現状の取り組み(NPO)
・住民への説明(警察、消防、専門家、区)⇒参加者少ない

日常の防災対策は？
(災害情報を伝える住民間のネットワーク)

震災、区民の連携×
→震災時の協力×
→緊急時の連絡体制作る

災害時の情報の伝達・収集

区からの周知方法の不足(区の対応体制について住民がどの程度理解しているか)

防災

地震、交通×→混乱→交通の整理

水害対策(防潮堤の見直し、下水道設備)

災害時に住民がいる場所について確保されているか

緊急の課題
大地震が発生した時の避難場所

H14年以降、人口増加⇒現状避難場所のキャパシティ

・災害発生直後の対応
・二次災害への対応

居住エリアの近くの避難場所を確保⇒ジャスコの取組み(コンビニ)町会との連携

危険避難地域(44万)

どうやって避難場所まで行くのか？

災害時の水路の利用

住(場所確保)

消防態勢
初期消火

地震対策診断は区が強制出来ないらしい
75年前に出来たビルが未だ使用されている

会社・工場・病院・学校等の統制

車の使用規制？
(道路)

倒壊家屋者の収容要領

避難場所に備蓄倉庫はあるのか？どうやって作るか？

中期・長期の課題
温暖化で海面が上昇した時の居住エリアの在り方

温暖、ゼロメートル→水没→温暖化対策(環境に優しい開発)

海面10m以上の避難地域

食

非常用糧食

個人携行品

交通

江東区住民のための交通

歩道(歩行)

高齢者の増加に伴ってもっともっとバリアフリーを進めて欲しい

年間4280万人の訪問客があるので、すからこれをいかに内陸部に誘致するか

歩道橋の整理(不用な歩道橋もあり、地震の時心配な橋もある)

老朽歩道橋の撤去

エレベーターの整備

自転車

橋の高さを自転車の走りやすい高さ(低く)にする

自転車の無灯が多い。オートライトの自転車が開発されている。区はオートライトの自転車のみの販売をするようにすべきである。

まずは放置自転車の解決方法第一に。それよりほかへ

自転車専用道路(一方通行を含む)

自転車交通のルール化

自動車

通過車両の規制

地下鉄

通勤ラッシュの解消 南砂駅は人口が増えたのに快速が止まらない東西線

トランジットモールの整備

バス

バス交通の見直しを 現在不便な所も多いと思われます

マンション施設の為バス交通は変わる

バスの交通網が1日体制のままである。時代の流れにそくさない。
Because 江東区の人口が増加しているのに

区内をミニバスですみずみ移動が出来たら...

ミニバスの利用を進める

コミュニティバスの運行

バス専用レーン、整備

軌道

軌道整備

路面電車(LRT)の復活

江東区として核になる駅(JR)を作る(亀戸・新木場・越中島・潮見)の中から

核になる駅を中心に南北交通を考える 亀戸通る貨物線の利用

貨物線の利用

新木場〜亀戸に関して旧JRの貨物線を活用するか!何らかの交通網を考えて欲しい

江東区亀戸始発のバスルートより墨田区錦糸町始発のバスルートの方が多い

亀戸駅の乗降客が減少している 町の発展の為問題

江東区は臨海地域はりんかい線、メトロ有楽町線、ゆりかもめ等の交通システムが有るが、東部地域はバスのみしかない

交通網

・区内の一体化
・多区(地域)へからのアクセス

全体の交通網

地区毎の交通網

江東区内のスミズミまで行ける便利な交通網

重要施設へ誰でも楽々行ける交通網とする

バス交通網の充実

弱者が安心でき便利な交通手段

公共交通の充実